

選果板付き適期収穫判別カラーチャートの開発

－おうとう「ジュノハート」用選果板のデザイン開発（第1報）－

Development of harvest time suitable discrimination color chart with selection board
－ Design development of selection board for JUNO HEART cherries (1st Report) －

小野 大輔、土嶺 康憲*
(*りんご研究所県南果樹部)

県重点事業『おうとう「ジュノハート」ブランド化推進事業』における、デビューに向けた生産・販売態勢整備の一部として、県南果樹部と共にカラーチャート付き選果板のデザイン及び試作を行った。この選果板の開発要件として、収穫に適した果実のサイズと色を同時に確認できること、携帯性に優れていること、ブランド化のため相応の質感を持たせることなどが挙げられた。

そこでまず、掲載するカラーチャートの元となる収穫適期の果実色の割り出しを行った。掲載する果実色は、収穫にはやや早い時期から晩期までの4色とし、それぞれの時期の果実色について、色差計によるLab値を参考にUVプリンタの出力色と色合わせを行った。これにより印刷出力用のCMYK値を把握し、果実色の印刷再現を可能とした。またこれに並行して選果板の形状についての検討を行い、果実のサイズ確認のための目安として、半円形の切り欠きを設けたもの、盤面に穴を穿ったものの2種を検討した(図1)。この後、選果板自体のサイズについても検討を行い、以下3件の要件を考慮し寸法形状を決定した。

1. 作業服のポケット等へ納めて持ち運ぶことが容易にできるサイズとする
2. 安定した果実サイズ確認のため、切り欠きでなく穴を穿ったものとする
3. 収納時の引っ掛かりを軽減するため、四隅の角を丸める

次に、カラーチャート4色の選果板への配置を検討した。既存のカラーチャートでは周囲に黒い縁がついており、その部分が果実との比色の妨げになるという課題があった。そこで、以下の3要件を考慮して考察を重ね、どちらの手で持っても比色とサイズ確認が可能なデザイン案を作成した。

1. 比色を容易にするため、カラーチャートに縁のない部分を設ける
2. どちら側からも比色できるよう、カラーチャートを選果板の左右両方に配する
3. サイズ確認用の選果穴は選果板の中央に一直線に配する

さらに基材として予定したアクリル樹脂板の強度確保と耐久性を考慮して厚さを設定し、実際の素材で試作品を製作した(写真1)。またこのデザイン案についての意匠登録申請を行った。

今後は、次の収穫時期に試作品の試用を行い改良すべき点を抽出することにしており、実際に生産者に提供するカラーチャート付き選果板の製造に繋げていく。

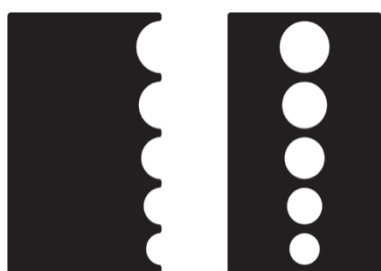


図1 検討した形状の例



写真1 試作品